鹿市医狂壇

541 樋口　一風　選

兼題「大吉（だいきっ）」

天

上町支部　吉野なでしこ

凶が出っ大吉つ引こち買直せっ

（唱）一向出らんじごろいと三度

（評）初詣で今年の運勢を知りたくて、御神籤を引いたら凶だった。御神籤を開いて「ありゃー」と思いますよね。

後味が悪いので大吉が出るまで、もう一回もう一回と、買い続けたのでしょうか。際限もなく続きそうな気がします。

ものは考えよう、凶より下はないので後は上を向くだけです。今年は向上の年だと考えたら、案外、凶も良い卦かも。

地

紫南支部　加治屋犬好

初詣で大吉つ引たて転倒けっ

（唱）そしこですんでそいが大吉

（評）矛盾を詠むのが薩摩狂句の最も得意とするところです。御神籤は大吉だったが、帰りに転んでしまったので、御神籤の大吉は、何だったのだろうかと、恨みたくなりました。でも転んだだけで済んだので良かったと考えれば、納得できませんか。

大吉と転倒、矛盾した出来事みたいですが、「人間万事塞翁が馬」という諺もあります。何か良いことに繋がるかも分かりません。

人

伊敷支部　谷山五郎猫

大吉が沢山っ入っちょい古いか財布

（唱）幾こ有ってん賞味切れじゃろ

（評）御神籤は捨てないで神社の木の枝とか、御神籤を結ぶ施設に結んで帰るものですが、この人は大吉の御神籤を大事に財布に仕舞い込んでいるらしい。その気持ちは良く分かります。珍しく大吉に当たったので、境内の梅の木に結んで帰るには勿体無い気がしたのでしょう。古い財布を見つけたので開けてみると、たくさん大吉の御神籤が入っていたという句です。

秀逸

五客一席　紫南支部　二軒茶屋電停

大吉が出っずい神社参ゆばしっ

（唱）一向出らんじ神社を梯子

五客二席　紫南支部　加治屋犬好

大吉の夢で年末宝くし

（唱）十億く狙ろっ爺あ買け走っ

五客三席　伊敷支部　谷山五郎猫

大吉の神籤で包だ宝籤

（唱）そゆば神棚ね供えっ拝ん

五客四席　上町支部　吉野なでしこ

発表前大吉つ引たちにこっしっ

（唱）大丈夫じゃっち御神籤ず懐れ

五客五席　伊敷支部　谷山五郎猫

御神籤が大吉じゃっち爺は飲っ

（唱）凶を引た時も験直し焼酎

薩摩狂句鑑賞　180

薩摩狂句暦　三條風雲児著　から

いざ言ときゃ親類がいっぱん役き立たじ

塚田　黒柱

「遠くの親類より、近くの他人」という諺がある。血のつながった者は本来頼りになるものであるが、遠くにいたのでは、いざという時に役に立たないということである。

ところがこの句は、近くにいても、他人ほども頼りにならない親類を皮肉ったものである。核家族化が進んで、親との同居生活もしなくなった現今、血のつながった者同士が、損得を抜きにして助け合うということさえ、だんだん失われつつあるのかも知れない。

叱られたや博多人形い髭を書っ

有馬　凡骨

大事にしていたバラの蕾を摘みとってままごとをしているところを叱ったら、今度は葉っぱまでむしりとったやんちゃ坊を見たことがあるけれども、この句もおそらく似たような「きかんたろ」であろうと思われる。

何かいたずらをして叱られたのであろうが、素直に「ごめんなさい」とは言わずに、ケースに入れてある博多人形に髭を書いたのである。叱られてびびる子より、このくらいの子が、将来頼もしいのかも知れない。

薩摩狂句誌 渋柿八四五号雑吟から

娑婆ん義理痩せ財布握っ歳暮吟味

上田　喜八郎

（唱）外観ん良か廉し品を探げっ

茶を替えっま一度捻い五七五

上薗　佳笑

（唱）も少とじゃって胸ね収まらじ

若作ゆしたとい支払れはシニア割い

安田　雄紀

（唱）赤どん着って髪ぬ染めたて

退職たなあ風呂飯寝っち女房が言っ

谷口　すずめ

（唱）バイトん女房が今度だ殿様

美味めどちそゆ聞ごごちゃっ料理い励っ

（唱）褒めっ貰ろえば湧て来い遣い気

米が高価け言どんパンでな落て着かじ

伊地知　孝

（唱）日本人な白飯し味噌汁

凄ぜ食た昨夜ん御馳走をけ忘れっ

藤本　鬼瓦

（唱）心配や無かが老化あ順調

除夜ん鐘今年も途中で眠っ
歯痒いこっ何処かん奴が籤じ当たっ
有難てか今年も親が年す越せっ

井上三ちゃん

狂句募集

◎3号
題吟「動悸っ（とためっ）」
締切 令和7年2月6日（木）

◎4号
題吟「見送い（みおくい）」
締切 令和7年3月6日（木）

◇選　者　樋口　一風

◇漢字のわからない時は、カナで書いてご応募くだされば選者が適宜漢字をあてます。

◇応募先　〒八九二－〇八四六
鹿児島市加治屋町三番一〇号
鹿児島市医師会『鹿児島市医報』編集係
TEL　〇九九－二二六－三七三七
FAX　〇九九－二二五－六〇九九
E-mail:ihou@city.kagoshima.med.or.jp